

『同じ地域に学ぶ子どもたちの教育のために  
小・中・地域の交流と連携を深めよう』

I 主題設定の理由

- 同じ地域に学ぶ子どもを教育する立場で、地域が抱える教育課題を共有し、その解決に向けた交流を行う。
- 地域との連携を強化し、「地域の子どもは、地域で教育する」という視点で地域の教育力の向上を図る。
- 小学校・中学校の連携を強化し、小・中の系統的な教育のあり方を研究する。

II 研究の内容

1 第1回ブロック交流研究会 【夏季臨地研修会】

- (1) 日時 8月7日(金) 午後1時30分から
- (2) 場所 柚木発電所(甲州市塩山藤木 2043 TEL:0553-32-2334)  
常泉寺(甲州市塩山三日市場 2984 TEL:0553-33-4948)
- (3) 目的 松里・井尻地区に関する歴史や文化、自然、産業などに関する学習会を講師を招いて行い、地域についての見聞を広める。
- (4) 内容

【柚木発電所】「今話題のクリーンなエネルギーについて」

講師 山梨県企業局笛吹川水系発電管理事務所 高野武様他6名

笛吹川水系の11箇所の水力発電所の中では最大規模の発電所で、同水系を管理する管理事務所も併設されている柚木発電所を見学し、施設の様子、発電の仕組み、山梨県の電気事業の経緯、笛吹川の総合開発等について学習した。小グループに分かれ、施設の見学をしながら説明を受けた。

【常泉寺】「聖徳太子の伝説、寺子屋の開設等地域の歴史にまつわる話」

講師 常泉寺元住職 栗原信盛様

常泉寺の沿革、聖徳太子にまつわる伝説、三日市場の寺子屋開設に関すること、秩父往還に関すること等地域の歴史に関する逸話について、資料等を拝見しながら学習した。

2 第2回ブロック交流研究会 【井尻小学校授業公開の参観】

- (1) 日時 11月4日(水) 午後1時50分から
- (2) 場所 井尻小学校

※インフルエンザ流行のため第2回ブロック交流研究会の実施を見送った。当日は、各校の校内研究会等に運用するようにした。ブロック交流研究会振替実施の調整を行った

が、諸事情のため実施が困難となり、井尻小学校公開授業の参観については1月のブロック交流研究会で実施することにした。

### 3 第3回ブロック交流研究会 【第2回の内容を実施】

- (1) 日時 1月13日(水) 午後1時50分から
- (2) 場所 井尻小学校
- (3) 目的 松里中学校区の小学校の授業の様子をブロック内の小中学校の教職員が参観することによって、地域の児童の様子を把握し、情報交換をするなかで地域の教育的課題を明らかにし、小中連携して子どもたちの健全な育成を図ることができるようにする。
- (4) 内容 井尻小学校全学級の授業参観と研究協議・交流会(情報交換)

※第3回ブロック交流研究会に予定していた地域や小・中学校の連携を主なテーマとした講演会(学習会)は取り止めとした。

## III 成果と課題

### 1 成果

- 臨地研修(見学)については、教師自らが地域に出て、地域を知る機会として意義があり、これを積極的に児童・生徒に還元できるように努力したい。
- 授業参観については、小学校の取組や実情を共有し、系統性や連携に役立てる要素となった。
  - ・視聴覚機器を駆使した学習意欲を高める工夫
  - ・地域の児童の学習の様子
- 全体会における研究協議において地域の子どもたちについての共通な話題について情報交換することができ、地域の子どもを育てる視点で課題や方向性を話し合うことができた。

### 2 課題

- 夏の臨地研修は時期が中学校の関東大会と重なり、大会運営や生徒の引率等で多くの先生が研究会に参加できない状況がある。
- インフルエンザの流行で、2回目が実施できなかった。別日への振替実施も日程の調整が難しく困難であった。年2回のブロック研ではなかなか深めることができない。
- 2回目の授業参観がインフルエンザの流行で実施できず、1月に行うことになった。学期始めにおける授業参観は、慌ただしさを感じる。また、講演会を実施できず残念であった。
- 授業参観の後の研究会では、テーマごとのグループ討議、全体の協議テーマの焦点化、共通の話題に関する協議の柱立て等交流を効果的に深めるための工夫が必要。
- 年間を通して、共通の具体的指導・連携項目(目標)設定して取り組むことが効果的である。

(ブロック長 遠藤建生)